人生を変える本を読もう！

一冊の本があなたの専攻就職先を決めることがあります
一冊の本があなたの世界観人生を変えることがあります

●三木成夫(みき・しげお)「内臓とこころ」河出文庫

○「こころ」とは、内蔵された宇宙のリズムである——おねしょ、おっぱい、空腹感といった子どもの発育過程をなぞりながら、人間の中に「こころ」がかたちづくられるまでを解き明かす解剖学者のデビュー作にして伝説的名著。

●三木成夫(みき・しげお)「胎児の世界～人類の生命記憶～」中公新書

○私たちは、かつて胎児であった「十月十日」の間羊水にどっぷりつかり、子宮壁に響く母の血潮のざわめき、心臓の鼓動のなかで劇的な変身をとげたが、この変身劇は太古の海に誕生した生命の進化の悠久の流れを再演する。

●三木成夫(みき・しげお)「生命とリズム」河出文庫

○「個体発生は宗族発生を繰返す」——人間の痛みはどこから来るのか——「三木生命学」のエッセンスがここに。

●今井むつみ・秋田喜美「言語の本質～ことばはどう生まれ、進化したか～」中公新書

○なぜAIは赤ちゃんに敵わないのか？ ヒトの知性に深く迫る、壮大な冒険——「言語の本質とは何か」という問題に挑む。この挑戦の鍵となるのは「オノマトペ」である。「げらげら」「もぐもぐ」「ふわふわ」「むくむく」「ふわふわ」・・・

●相良敦子「お母さんの『敏感期』」文春文庫

○モンテッソーリ教育の第一人者が子育てのポイントを親育てというユニークな視点から解説。「敏感期」ってなんですか？ 子どもはひとりですりたいと望んでいるのですか？ なんでも分けたがるのはなぜですか？ 事例が満載。

●竹内久美子「パラサイト日本人論～ウイルスがつくった日本のこころ～」文春文庫

○なぜ京都人は恐妻家で九州人は男尊女卑なのか。それを解くカギは寄生者^{パラサイト}にあった！ ミトコンドリアが語る日本人のルーツ、縄文人だけがもっていたウイルスの秘密、動物はなぜ異性の外見にこだわるのかなど、目からウロコ。

●多田富雄・南伸坊「免疫学個人教授」新潮社(先生:多田富雄/生徒:南伸坊)

○「自己」とは何か。「非自己」から「自己」を区別して、個体のアイデンティティを決定する免疫。アレルギー、臓器移植、エイズなどの社会的問題との関わりの中で、「自己」の成立、崩壊のあとを辿り、個体の生命を問う、個人教授。

●水原美苗「増補 日本語が亡びるとき～英語の世紀の中で～」講談社文庫

○日本語は、明治以来の「西洋の衝撃」を通して、豊かな近代文学を生み出してきた。いま、その日本語が大きな岐路に立っている。グローバル化の進展とともに、ますます大きな存在となった(普通語＝英語)の問題を避けて、・・・

●江藤淳「閉ざされた言語空間～占領軍の検閲と戦後日本～」文春文庫

○第一部 アメリカは日本での検閲をいかに準備していたか <昭和18年(1943)6月初頭から・・・>

○第二部 アメリカは日本での検閲をいかに実行したか <昭和20年(1945)9月初頭から・・・>

●江藤淳「漱石とその時代」新潮社(全五部)

○「漱石の隠れた実像を掘り起こしながら、彼が出逢った明治という巨大な過渡期の姿をつとめて精細に喚起しようとした」著者は、深い洞察とゆたかな描写で、夏目漱石の誕生(慶應三年正月・第一部)から最晩年(第五部)までを描き切った——第五部は、大正元年の「行人」、同三年「心」、同四年「硝子戸の内」「道草」を鮮やかに論じる。

連絡先電話番号: 042-710-5768(石川)

学友各位へ

石川塾での「日曜朗読会」は21回を数え2年ほどで下記の本を読み終えました
渡部昇一「東條英機 歴史の証言～東京裁判宣誓供述書を読みとく～」祥伝社文庫と
江藤淳「閉ざされた言語空間～占領軍の検閲と戦後日本～」文春文庫の二冊です
今後は月1回から(年4回)三か月に一度のペースで
引き続き「海を眺め寿司を喰ひ本を読む会」と称し
逗子の寿司店「いいじま」でランチタイムに開催しますのでぜひ御参加下さい
(一卓定員6名:昼食代一人2千円・各人交通費)
食後は逗子葉山鎌倉の海岸丘陵の散策を予定しています
(普段着に遠足用運動靴・トレッキングシューズで自由に参加下さい)
※なお図書は一部入れ替え追加変更することもありますので御了承ください

人生を変える本を読もう！

集合時間 11:30～40 (JR 逗子駅～京急逗子・葉山駅)

6/8(日) 12:00～13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト) <終了>

●上田惇生(訳)ピーター・ドラッカー「経済人の終わり」ダイヤモンド社

○渡辺惣樹「誰が第二次大戦を起こしたのか～フーバー大統領『裏切られた自由』を読み解く～」
草思社文庫

○渡辺惣樹(訳)ジェフリー・レコード「アメリカはいかにして日本を追い詰めたか～「米国陸軍
戦略研究所レポート」から読み解く日米開戦～」草思社文庫

9/7(日) 12:00～13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●有賀裕子(訳)フレデリック W.テイラー「新訳 科学的管理法」ダイヤモンド社

○ジャック・ビーティ/平野誠一(訳)「マネジメントを発明した男ドラッカー」ダイヤモンド社

○P.F.ドラッカー/上田惇夫(訳)「非営利組織の経営～原理と実践～」ダイヤモンド社

12/7(日) 12:00～13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●村上春樹「アンダーグラウンド」講談社文庫

○帚木蓬生(ははきぎ・ほうせい)「沙林(さりん)～偽りの王国～(上下)」新潮文庫

3/8(日) 12:00～13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●福岡伸一(訳)ヒュー・ロフティング「ドリトル先生航海記」新潮社

○荒俣宏(訳)チャールズ.R.ダーウイン「新訳 ビーグル号航海記(上下)」平凡社

連絡先電話番号：042-710-5768 (石川)

学友各位へ

2026年度及び2027年度の新たなラインナップを以下に列記します
2年で塩野七生の「ローマ人の物語」全43巻を読むのも一つですが
分野の異なる本・別な作者の体験物語作品などを年4回三か月に
3冊ほどの本を読んでいきたいと練り直しましたので御覧ください

「海を眺め寿司を喰ひ本を読む会」と題し

逗子の寿司店「いいじま」でランチタイムに開催しますのでぜひ御参加下さい

(一卓定員6名:昼食代一人2千円・各人交通費)

※なお図書は一部入れ替え追加変更することもありますので御了承ください

人生を変える本を読もう！

集合時間 11:30~40 (JR 逗子駅~京急逗子・葉山駅)

6/7(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●塩野七生「十字軍物語(全4巻)」新潮文庫…キリスト教徒とイスラム教徒の二百年に及ぶ争い

○塩野七生「海の都の物語~ヴェネツィア共和国の一千年~(上下)」中公文庫

9/6(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●内田洋子「モンテレッジオ小さな村の旅する本屋の物語」文春文庫

○内田洋子「皿の中に、イタリア」講談社文庫…イタリアの魚市場とイタリア人と食べる魚料理

○カエサル「ガリア戦記」講談社学術文庫…カエサルがローマ軍を率いてガリア(現フランス)へ遠征した記録

12/6(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●沢木耕太郎「テロルの決算」文春文庫…林史雄弁護士の父君が山口^{おとや}二矢の弁護人でした

○沢木耕太郎「危機の最相」文春文庫…「所得倍増論」の首相・池田勇人と田村敏雄と下村治の志と夢

○沢木耕太郎「流星一つ」新潮文庫…(歌手を止める前の)藤圭子へのロングインタビュー(鎮魂歌となる)

3/7(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●小山鉄郎「大変を生きる~日本人の災害と文学~」作品社…文学に現れた地震火災津波災害

○小山鉄郎(ハルノ宵子画)「文学はおいしい」作品社…実に多くの料理来歴と文学作品が登場・画もいい

○小山鉄郎「村上春樹を読みつくす」講談社現代新書…謎に満ちた物語世界を案内する入門書

連絡先電話番号: 042-710-5768 (石川)

※なお(皆さまが)本を読んで目から鱗が落ちた話・人に伝えたい話・役立つ話などあれば御紹介ください

学友各位へ

分野の異なる本・別な作者の体験物語などを年4回三か月に約3冊の本を読んでいきたいと練り直しましたので御覧ください

「海を眺め寿司を喰ひ本を読むカイ」と題し

逗子の寿司店「いいじま」でランチタイムに開催しますのでぜひ御参加下さい

(一卓定員6名:昼食代一人2千円・交通費実費)

※なお図書は一部入れ替え追加変更することもありますので御了承ください

人生を変える本を読もう！

集合時間 11:30~40 (JR 逗子駅~京急逗子・葉山駅)

6/6(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●池部良「ハルマヘラ・メモリー」中公文庫...男優・池部良(立教大学英文科卒)少尉の軍隊

○井川聡「軍艦^{やはぎ}「矢矧」海戦記」光文社 NF 文庫...超高層ビル建築家・池田武邦の苛烈な戦争体験

○吉村昭「零式戦闘機」新潮文庫... (ゼロ戦) その秘密裡の誕生、輝かしい戦歴、敗亡の悲運を綴った記録

9/5(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●古山高麗雄「断作戦~戦争文学三部作1~」文春文庫...中国雲南の玉砕戦から奇跡の生還

○「龍陵会戦~戦争文学三部作2~」文春文庫

○「フーコン戦記~戦争文学三部作3~」文春文庫

12/5(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●村上春樹「職業としての小説家」新潮文庫

○村上春樹・柴田元幸「本当の翻訳の話をしよう」新潮文庫

○川上未映子(訳)村上春樹(語る)「みみずくは黄昏に飛びたつ」新潮文庫

3/6(日) 12:00~13:30 (●:メインテキスト/○:サブテキスト)

●一志治夫「宮脇昭、果てなき闘い~魂の森を行け~」新潮社...4000万本の木を植えた男

○「宮脇昭自伝 いのちの森づくり」藤原書店...被災地に全長300キロの「森の防潮堤を作る」想いを伝える

○宮脇昭「東京に『いのちの森』を！」藤原書店...タブノキ・スダジイなどの(鎮守の森百選:逗子・神武寺)

連絡先電話番号:042-710-5768(石川)

※候補作品:北杜夫「輝ける碧き空の下で」/ドナルド・キーン「明治天皇」/安岡章太郎「果てもない道中記」/江藤淳「漱石とその時代」/山本夏彦「完本 文語文」/村上春樹「職業としての小説家」/三木成夫「胎児の世界」/立花隆「宇宙からの帰還」/竹内久美子「遺伝子が解く! 万世一系のひみつ」...ほか